

帯広市民劇場

帯広市民劇場運営委員会広報誌

北海道帯広市西5条11丁目48番地2

帯広市民文化ホール内

TEL・FAX 0155-21-5518

web <http://www.shimingekijo.com>

令和3年12月発行

令和3年度帯広市民劇場賞等を受賞された皆様に今後の抱負について伺いました。



絆を大切に

藤芳会

代表 宮田 真裕美

この度は、このような栄誉ある市民劇場賞を賜り、藤芳会会員一同心よりお礼申し上げます。喜びを感じつつも、気持ちを引き締まる思いです。

藤芳会発足以来、今年で四十七年目を迎えます。

これまでには、中山民俗舞踊研究所北海道支部会長の中山義嘉先生を始め大勢の舞踊の方々、そして民謡・カラオケ関係の皆様のおかげで指導と協力で支援を日頃より頂いている事に、お礼と感謝の気持ちで一杯でございます。

これからも会員一同は、地域文化向上発展に少しでもお役に立つ事が出来ますように、気持ちを一つに更に絆を強め、今まで歩いて来たように地道にコツコツとゆっくり周りの方々に助けて頂きながら、精進して前に進んで参りたいと思っております。

今後共宜しくお願い致します。

雅楽とは

北海道神社庁十勝支部雅楽会

代表 富樫 延行

帯広市民劇場賞戴きました事心より感謝と共に御礼申し上げます。

雅楽は日本の伝統文化であり宮内庁の教を戴き研鑽している処です。

雅楽は大きく分けると管弦吹・舞楽・神学に分けられます。管弦は鳳翔、龍笛、箏、打ち物、絃物、にての合奏。

舞楽は管弦に舞人が加わり長い曲、早い曲がおおく、面・衣装で数百万します。

神学は神社の巫女さんが舞うものでゆったりした曲が多い。この先舞楽演奏を会員全員が携わるように楽しく練習を進めて行く処です。

此の度はありがとうございました。



市民手作り公演の支援、芸術文化団体や個人の育成・発掘を

帯広市民劇場運営委員会

委員長

瀧川 秀敏

帯広市民劇場は、昭和38年帯広市教育委員会の発案により、帯広市及び十勝の芸術文化の発展向上に寄与することを目的に設立されました。以来、現在まで50数年に渡り、演ずる者とそれを鑑賞する者との交流の場を創り、併せて芸術文化団体並びに個人への支援と育成を図りながら、930回に及ぶ公演を開催してきました。

平成5年からは、帯広市文化スポーツ振興財団が設立された

ことに伴い、帯広市と財団と帯広市民劇場との間で事業の住み分けが行われ、帯広市民劇場は、市民オペラ・市民バレエ等、市民手作り公演の支援や芸術文化団体並びに個人の育成・発掘を主たる事業として実施しているところです。

平成29年には、国は「文化芸術基本法」を制定し、国、地方自治体、文化施設はもとより、芸術文化団体にもその責任が求められ、芸術文化は観光や福祉、教育など様々な分野と連携しながら、まちづくりに努めなければなりません。帯広市民劇場もその一翼を担ってまいりたいと存じます。

今後とも、帯広市民劇場に変わらぬご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



レストランを目指して

加藤 和彦

この度は、帯広市民劇場功労賞を賜り心より感謝申し上げます。

永く調理師としての活動はして来ましたが、文化・芸術に関するこの栄誉を光栄に思っています。レストランを活用して演奏会や音楽発表の場として、また風景写真の展示など料理以外の取り組みを評価していただき大変うれしく感じます。

レストランの語源はフランス語のレストレ restaurer という「元気を回復させる、強壯にする」というところから来ています。食材の宝庫と言われる十勝、恵まれたこの土地で料理を創造し食事をする事がもっと楽しく幸せに感じてもらえるような事を考えまい進んで行きたいと思っています。



十勝とマリimba

笹井 由香

この度は帯広市民劇場 奨励賞という栄誉ある賞を賜り、大変嬉しく身の引き締まる思いです。私がこの様な活動が出来ているのも、勉強を応援してくれた両親をはじめ、導いて下さった先生方の、そしていつも応援し支えて下さる方々のお陰であり、今回受賞した事で日頃の感謝の気持ちをお伝え出来、一緒に大変喜んで頂いております。

まだまだ知らない方もいる中、今後はマリimbaという楽器を更に広めていき、十勝と言えばマリimba!とさせて頂けるようにしていきたいと思っております。

また十勝の子供達の打楽器などを通して音楽への興味と技術向上のお手伝いが出来れば幸いです。



未来の書に向かって

田中 裕子

この度は帯広市民劇場奨励賞を賜り、深く感謝申し上げます。

日頃より、書作品に新しい何か表現したいと思い、納得いく作品の完成に試行錯誤の日々ですが「心おもむくままに 楽しく、心躍る書」をテーマに作品を制作しています。

前衛書という新しい書の表現により、書の魅力を多くの方に伝えていけるよう、私自身も進化し続けたいと気持ちを新たにしております。

書を通してたくさんの出会いや支えがあり、また、忘れられない感動にも出会えたことに感謝し、これからも一歩一歩精進してまいりたいと思います。



集おう！歌おう！

ローズジュニア合唱団

代表 船場 光子

「賞」は励みになります。今後の活動への意欲にもなります。

今回の受賞を関係者一同、素直に喜んでおります。

昭和59年からのバトンを受け継ぎ、ここまで走って来ましたが、解散した合唱部あり、新設された合唱部ありの波乱の年月でした。

歌が好きなお子様たちはたくさんいるのですが、歌える場所には限られています。

合唱部が無くても、歌いたい子どもたちが一緒に歌える環境をつくり、合唱の輪を広げていこう！というのがこれからの目標です。

ローズジュニアは、地域の合唱好きの子どもたちのために、今後も精力的に活動していきたいと思っております。

略年表

- 1963 帯広市民劇場発足記念フェスティバル
- 1985 ミレーとバルビゾンの森の画家たち展
- 1989 第1回おびひろ新能
- 1991 第1回新人演奏会(現在まで17回実施)
- 1995 第1回北の構図展(現在まで15回実施)
- 1997 第1回市民オペラ(現在まで6回実施)
- 2004 第1回市民バレエ(現在まで4回実施)
- 2005 第1回邦楽邦舞 WS(現在まで15回実施)
- 2006 小学校出前講座(現在まで16回実施)
- 2008 第1回ふるさと公演(現在まで8回実施)
- 2017 北の輝き vol.1.(現在まで2回実施)

※現在までに930回を超える公演を開催しております。

令和4年度の事業計画

- 第41回おびひろ市民芸術祭(2022.4~5)
- 小学校出前講座(2022.8~2)
- 出前講座夏休み特別講座(2022.8)
- 北の輝き vol.3「長岡幸枝箏曲演奏会」(2022.10.23)
- ロベール・ヒロン テノールコンサート(2022.11.13)
- 帯広市民劇場賞の贈呈(2022.11)
- 帯広市文化団体及び関係者新年交礼会(2023.1)
- 出前講座冬休み特別講座(2023.1)
- 邦楽邦舞ワークショップ(2023.2~3)
- 北の構図展(2023.2)
- 広報誌の発行
- HP開設

※詳細につきましては市民劇場 HPにて掲載